

Enlightenment アートの光

— 現代アーティストによる四つの光の空間

現代アーティストによる光をもちいた作品を紹介する展覧会です。それぞれのアーティストによって構成された四つの空間を巡り、光のアートの世界を体感します。

タイトルの‘Enlightenment’は、「啓蒙」や「明らかにすること」を意味し、「光」や「明かり」を語源とする言葉です。光はときに、希望

や温かさ、あるいは寂しさといった感情を私たちの心に呼び起こします。また、アートはときに感動や気づきを私たちの心に与えてくれます。そうして生み出される感情は、もしかしらアートによって心に灯される光に喩えられるのかもしれませんが。本展覧会では、アートの光を感じていただけるような作品を紹介します。



杉山明博《三本脚のあかり》



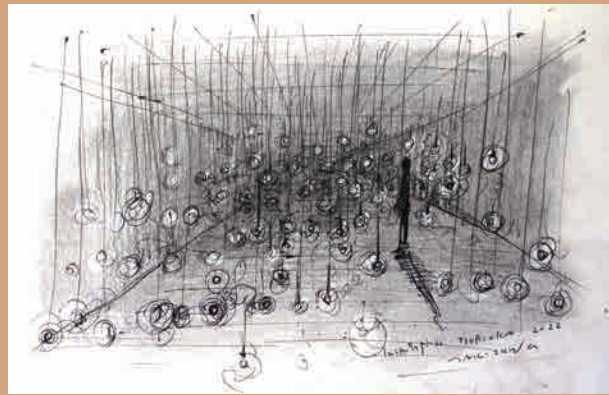
plaplax《Proto Flora》2013（参考作品）



タムラサトル《100の白熱灯のための接点 #2》2014、テツカヤマギャラリー ビューイングルーム（大阪、2018）での展示、撮影：斐生田兵吾



plaplax《Water Pocket》



瀧澤潔《鶴岡のためのインスタレーション、ドローイング》2022



瀧澤潔《鳥取県立博物館のためのインスタレーション》2021



杉山 明博

1942年、静岡県生まれ。静岡大学名誉教授。東京教育大学大学院修士課程修了後、大学で教鞭を執りながら作家としても活動。デザインと造形の共生を目指した木の造形物や、遊びと学びの一体化した木の作品などを制作する。「木とのふれあいワールド展」（おかげぎ世界こども美術博物館ほか、1998）、「木のおもしろワールド 杉山明博 造形の世界」（米沢市上杉博物館、2019）など多数の展覧会を全国で開催。本展では、自然が生み出すかたちと木の在り方に従う造形に、「あかり」をも造形物とした作品を紹介する。



タムラサトル

1972年、栃木県生まれ。筑波大学芸術専門学群総合造形卒業。主な展示に、「ぐるぐるボカン〜まわる！はしる！つるおかの自然」（鶴岡アートフォーラム、2010）、「タムラサトル《真夏の遊園地》」（栃木県立美術館、2014）、「ワニがまわる タムラサトル」（国立新美術館、2022）など。まわるワニ、後退するクマ、バタバタ音を立てる布、端数がない重量の彫刻、大袈裟で開放的なスイッチ、動き続ける図形もしくは文字、10回たたく装置、などを発表している。本展では、白熱灯と大がかりなスイッチを組み合わせた作品を紹介する。



plaplax（プラブラックス）

体験型作品の制作をベースに、テーマやモチーフの中に潜んでいる物語を掘り下げ、様々なメディアを使い、新しい発見や学び、ワクワクするような体験の創造に取り組む。Ars Electronica（オーストリア、1997〜）、ポンピドゥー・センター（フランス、2005）、文化庁メディア芸術祭（日本、1998〜）など、国内外で数多く作品を発表。また“Imaginature”をテーマにメディアアートの視点、手法で心象自然をスケッチする活動など、さらにその領域を広げている。本展では、水紋を投影する《Water Pocket》や発光する《Proto Flora》、新作も発表する。



瀧澤 潔

1978年、千葉県生まれ。和光大学卒業後、舞台芸術の仕事しながら作家としても活動。コバヤシ画廊（東京 銀座、2006）、藍画廊（東京 京橋、2006）、「鳥取県立博物館のためのインスタレーション」（鳥取 鳥取市、2021）などで個展を開催。「大地の芸術祭 妻有アートトリエンナーレ」（新潟 津南町、2009-2012、2015）などにも出品する。その土地の地域性や場所と対峙しながら、自己の体験を重ね合わせた作品を制作。本展では、鬱蒼とした山を抜けたときに見た空の光という、本人の体験から着想を得た250個の電球をつかった作品を紹介する。

【関連企画】受付：9:00～19:00 館内受付にてお申込みください（電話受付可）。ただし、休館日を除く。

開幕記念・特別ワークショップ

顔ランプをつくる

講師◆タムラサトル（現代アーティスト、本展出品作家）

日時◆7月16日（土）14:00～16:00

内容◆電球（白熱灯）に色々なものをくっつけて、顔のあるランプをつくりまわす。顔ランプが出来上がったら展覧会場に飾りましょう。 ※会期終了後、お持ち帰りいただけます。

会場◆鶴岡アートフォーラム アトリエ

対象◆小学生以上（小学校低学年の場合は保護者同伴）

定員◆先着12名

費用◆1,000円 ※申込時にお支払い下さい。

申込◆6月25日（土）～7月15日（金）



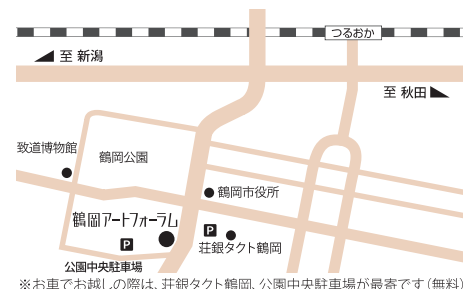
会場に展示するのだ！



◆ご来館の際には感染症対策にご協力をお願いします。また、感染症の拡大防止により、変更または中止となる場合がございます。最新情報と詳細については随時当館ホームページなどでご案内いたしますので、何卒ご了承ください。

鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL:0235-29-0260（代表） FAX:0235-22-6051



※お車で越越しの際は、荘銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄です（無料）